

○「利用状況調査結果を検討」

(京都府与謝郡伊根町 筒川地区連絡会議)(平成30年度第1回)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

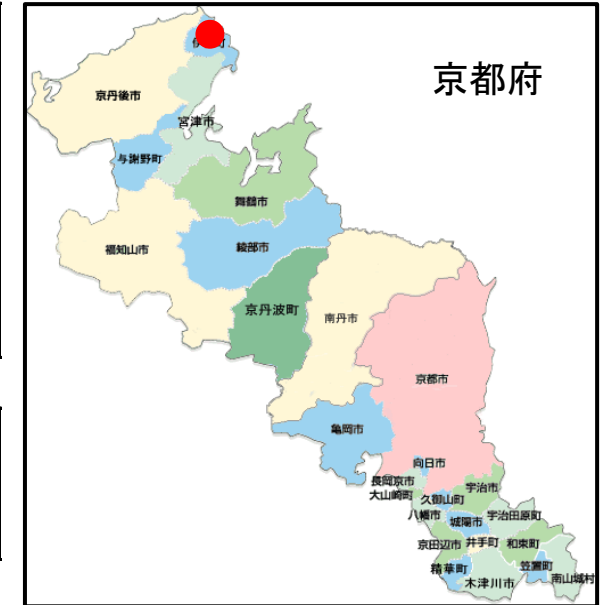
遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

- 日時(時期): 平成30年10月10日(水) 13:30~16:00
- 場 所: 伊根町筒川センター
- 出席者: 委員4人、事務局1人
- 報告者: 増田 英雄 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

旧村筒川村の範囲にあり、町内で最も過疎高齢が進んでいる地域。人口減少も進んでおり、農地だけでなく集落機能の維持も難しいところもある。集落営農組織が担い手となっているが、メンバーも高齢であり、その後の対策を打ち出せずにいる状況。

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 利用状況調査の結果を検討。検討内容は、「新規A分類の再調査」「水利の不可能な水田はソバ栽培の奨励」「中山間地域の除外検討」「菅野地区検討会設置の提起」「被災農地の対応」(調査結果)新規保全管理 29筆
 - B分類→保全管理1筆
 - A分類→B分類1筆
 - 保全管理→A分類15筆(早期再生必要8筆)
 - 耕作→保全管理17筆 保全管理→耕作4筆

4 活動結果

- 情報・意見交換 **2.5** 時間
- 担い手への集積 a 増加
- 遊休農地面積 a 解消
- 新規就農者 人 支援